



段階に即した献立など地元食材を活用し、安全、安心で栄養バランスのとれた給食の提供に努めます。なお、給食費を現行の私会計から公会計に移管して、学校給食の透明性を図ります。

また、子どもの虫歯予防対策として、小学校全年と中学1年生を対象にフッ化物洗口を実施します。

信頼される学校づくりに向け、学校評議員や保護者アンケートなどによる評価や意見を教育活動の工夫、改善に生かすとともに、一日体験入学などによる保育園や小学校、中学校との連携交流、「学校だより」の発行や地域参観、校内研究授業の公開などによる学校の教育活動に関する積極的な情報提供などを行い、学校と家庭、地域が一体となつて子どもたちを育てていくという視点に立つて学校づくりを進めてきました。

道指定の「小中連携・一貫教育実践事業」では、26年度から3年間、小中学校間の情報の共有化を図るとともに、義務教育9年間を見通した一貫性のある年間指導計画を策定し、通年乗り入れ授業や教

員相互の公開授業、小中合同の研修会、先進地視察研修などを実施して、比布の子どもとともに育てるという視点に立つた取り組みを進めてきました。

これまでの各学校の歴史と伝統の中で培われてきた良き校風を受け継ぎながら、小中学校が目標を共有し、教職員が一体となつて学習指導や生徒指導などに組織的、系統的に取り組み、義務教育9年間の連続性のある指導を行つていきます。

子どもたちが夢や希望を膨らませながら豊かで実りある学校生活を過ごす教育、人間性、社会性豊かな児童生徒の育成を目指して、小中学校の全教職員で構成する「比布町小中一貫教育推進協議会」において、3年間の実践研究での成果をもとに、小中一貫教育の研究、検討を進めます。

また、これまでの開かれた学校からさらに踏み込み、多くの保護者と地域が一体となつて子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指して、「コミュニティ・スクール」の研究、検討を進めます。安全教育については、各学

校の危機管理マニュアルに基づき、交通安全指導や防犯、防災教育などに関係機関の協力を得ながら計画的に実施して、子どもたちの安全確保と危機管理能力の向上に努めるとともに、家庭、学校、地域が連携して、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる体制づくりに努めます。

スクールバスについては、安全を最優先した効率的な運行に努めます。

学校教育の充実として、比布町教育研究所での実践研究を中心に、校内研修や小中合同研修、近隣校との共同研究などの充実を図り、多様な教育課題に適切に対応できるように、教育の専門家としての教職員の資質、能力の向上に努めます。

比布中学校校舎及び武道場を中央小学校校舎に隣接して、29年と30年の2か年で建設します。なお、現比布中学校関連施設の跡地利用は、庁内検討委員会で、具体的な活用方法を協議します。

▼社会教育

社会教育は、公民館や図書館、スポーツ施設などの社会

ラフなどへの図書宅配サービスの提供など、魅力ある図書館の運営に努めます。

また、図書館司書による学校図書室の蔵書の巡回整理を行うとともに、「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの望ましい読書習慣の定着を図ります。

▼スポーツの振興

スポーツは、日々の暮らしに潤いを与え、体力の向上や健康の増進を促し、明るく豊かで活力のある社会を形成するうえで、重要な役割を果たしています。

体育協会をはじめ関係団体と連携を図り、各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催します。また、中学校の部活動やスポーツ少年団、スポーツクラブジュニアの活動を積極的に支援するなど、スポーツに親しむ意識の啓発や環境の整備に努めます。

誰もが気軽に参加できる健康スポーツ教室や軽スポーツ大会を開催して、生涯スポーツの普及に努めるとともに、水泳教室、子ども体操教室、町民スキー・スノーボード教室を継続実施して、幼児期か

教育施設を活用しながら、社会教育関係団体や指導者と連携して、それぞれの年代に応じた学習機会や学習情報を提供するなど、町民が生涯にわたつて自主的、意欲的に芸術や文化に親しみ、心身ともに豊かで生きがいのある生活を送るうえで重要な役割を担っています。

「いつでも、どこでも、だれでもが親しむことのできる生涯学習の推進」を基本方針とする「第5次比布町社会教育中期振興計画」に基づき、町民の多様なニーズに対応した学びの機会や芸術、文化に親しむ機会の提供に努めるとともに、学んだ成果を地域活動に生かすことのできる環境づくりに努めます。

家庭において子どもが望ましい生活習慣などを身につけ、心身の調和のとれた発達を図られるよう、親子のふれあいを深める親子参加型の体験教室の開催やPTAなどと連携して家庭の教育力の向上と地域全体で子どもを守り育てる環境づくりに努めます。

家庭での学習習慣の定着を図るため、小学生は長期休業期間に元教員、大学生などの

ら子どもたちが意欲的に運動に親しむ環境づくりに努めます。

冬季スポーツでは、スキークラブやスキー学校など関係者の協力のもと、町民スキー・スノーボード教室をはじめ、学校のスキー授業やスキー少年団活動を支援するとともに、町民スキー大会など各種大会を開催して、スキー場の利用促進と町民の冬季の健康増進を図り、親子や家族で楽しめる生涯スポーツとして振興に努めます。

体育施設は緊急性の高いものから計画的に施設の整備を行い、安全で楽しくスポーツに親しむことのできる施設運営に努めます。なお、本年度は町体育館の床の全面改修を行います。

終わりに、町民のみならずの信頼と負託に応えるため、町をはじめ学校、家庭、地域と連携を深め、本町教育の充実、発展のために最善の努力をすることを申し上げ、教育行政執行方針とします。

ボランティアによる学習支援事業「ぶつくん寺子屋」、中学生は民間学習塾の講師による学力向上対策事業「チャレンジゼミ」を引き続き開講します。

愛着と誇りの持てる事業として継続して実施します。生涯学習については、白寿大学を引き続き開設し、主体的な活動を支援するとともに、多様化するニーズに応じた学習機会を提供するなど、健康で充実した学びを続け、交流やふれあいを深められる環境づくりに努めます。

また、保護者の仕事と子育ての両立を支援するとともに、放課後における児童の安全、安心な居場所として、放課後児童保育を引き続き実施します。

また、文化連盟と連携して、町民文化祭など地域に根ざした文化、芸術活動を支援するとともに、図書館や遊湯びつなど作品展示の場を提供して、町民の文化活動に対する興味や関心を高め、文化、芸術の振興に努めます。

また、子ども会活動や婦人会連絡協議会の主体的な活動を支援するとともに、世代間交流や自ら学ぶ楽しさを育む貴重な場となっている子ども体験教室を継続実施します。

また、文化連盟と連携して、町民文化祭など地域に根ざした文化、芸術活動を支援するとともに、図書館や遊湯びつなど作品展示の場を提供して、町民の文化活動に対する興味や関心を高め、文化、芸術の振興に努めます。

君の夢プロジェクト推進事業は、一流選手による技術指導など、中学校の部活動を支援するとともに、中学3年生の首都圏修学旅行の保護者負担を一部助成して、生徒が夢や希望を膨らませながら、将来の生き方や進路を選択する能力を育成するなど、比布に